



2027年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年6月12日

上場会社名 株式会社 光・彩 上場取引所 東・名
 コード番号 7878 URL <https://www.kohsai-qq.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 深沢 栄二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部部長 (氏名) 今井 一貴 (TEL) 0551-28-4181
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年1月期第1四半期の業績(2026年2月1日~2026年4月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年1月期第1四半期	1,588	55.1	361	435.6	362	477.0	251	560.4
2026年1月期第1四半期	1,023	3.3	67	6.2	62	△2.7	38	△19.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年1月期第1四半期	168.23	—
2026年1月期第1四半期	25.47	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年1月期第1四半期	3,895	1,756	45.1
2026年1月期	3,417	1,547	45.3

(参考) 自己資本 2027年1月期第1四半期 1,756百万円 2026年1月期 1,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2027年1月期	—	—	—	—	—
2027年1月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年1月期の業績予想(2026年2月1日~2027年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	17.9	400	122.2	370	115.1	260	135.6	173.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年1月期1Q	1,584,000株	2026年1月期	1,584,000株
② 期末自己株式数	2027年1月期1Q	87,596株	2026年1月期	87,596株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年1月期1Q	1,496,404株	2026年1月期1Q	1,496,404株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の継続による個人消費への影響に加え、米国の通商政策や金融市場の動向、中東情勢等の地政学的リスクなど、海外経済の不確実性も高く、先行き不透明な状況が続いております。

ジュエリー業界におきましては、金・プラチナ等の貴金属価格の高騰やエネルギー価格等の高止まりが継続していることに加え、物価上昇の影響による消費行動の慎重化もみられ、依然として厳しい事業環境で推移いたしました。

このような環境のもと、当社は、経営目的である「ジュエリー創りを通じてより良き世界を創る」の実現に向け、独自技術を活かした超軽量化商品や資産性商品など、機能性や付加価値を重視した製品提案を推進するとともに、営業体制の強化、国内外における新規顧客の開拓、販路拡大および既存顧客との取引拡大に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間におきましては、当社が展開する幅広い商品ラインアップを活かし、多様化する顧客ニーズへの対応を推進した結果、国内受注は数量面を含め堅調に推移いたしました。海外受注につきましても、為替動向の影響等を背景に概ね堅調に推移し、国内外ともに安定した受注環境を維持いたしました。また、生産体制の見直し、各工程における作業効率の改善および必要な修繕・保全対応および生産効率の向上に資する設備投資等を通じて、時間当たり労働生産性の向上に取り組んでまいりました。また、地金価格の高騰やエネルギー価格等が高止まりする中、原価管理の徹底および取引条件の適正化に努めてまいりました。利益につきましては、原材料価格の急激な上昇に伴う在庫評価益等の一時的な影響により、当第1四半期の利益率は高い水準となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,588百万円（前年同期比55.1%増）、営業利益361百万円（前年同期比435.6%増）、経常利益362百万円（前年同期比477.0%増）、四半期純利益251百万円（前年同期比560.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ478百万円増の3,895百万円となりました。主な変動は、現金及び預金の増加87百万円、受取手形及び売掛金の増加36百万円、棚卸資産の増加343百万円等によるものです。

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べ268百万円増の2,138百万円となりました。主な変動は、支払手形及び買掛金の増加78百万円、短期借入金の増加100百万円によるものです。

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比べ209百万円増の1,756百万円となりました。主な変動は、四半期純利益251百万円の計上による増加及び配当金の支払44百万円による減少等があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月10日に公表した業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年1月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	506,805	594,509
受取手形及び売掛金	632,260	668,363
棚卸資産	1,514,241	1,857,858
その他	27,341	37,786
流動資産合計	2,680,649	3,158,518
固定資産		
有形固定資産	455,972	452,480
無形固定資産	15,854	14,082
投資その他の資産		
投資有価証券	99,851	104,415
投資不動産	26,094	26,094
繰延税金資産	—	996
その他	139,258	139,258
投資その他の資産合計	265,204	270,765
固定資産合計	737,030	737,328
資産合計	3,417,679	3,895,847
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	410,272	488,845
短期借入金	1,140,000	1,240,000
未払法人税等	52,222	119,783
賞与引当金	—	33,306
その他	167,615	155,745
流動負債合計	1,770,110	2,037,680
固定負債		
役員退職慰労引当金	40,783	41,333
退職給付引当金	36,695	38,213
繰延税金負債	34	—
資産除去債務	3,128	3,137
その他	19,872	18,525
固定負債合計	100,513	101,209
負債合計	1,870,624	2,138,890
純資産の部		
株主資本		
資本金	602,150	602,150
資本剰余金	509,290	509,290
利益剰余金	429,366	636,219
自己株式	△31,880	△31,880
株主資本合計	1,508,926	1,715,779
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38,129	41,178
評価・換算差額等合計	38,129	41,178
純資産合計	1,547,055	1,756,957
負債純資産合計	3,417,679	3,895,847

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
売上高	1,023,991	1,588,550
売上原価	809,489	1,063,019
売上総利益	214,501	525,530
販売費及び一般管理費	146,964	163,787
営業利益	67,536	361,743
営業外収益		
受取利息	1	10
受取地代家賃	487	533
為替差益	—	3,299
雑収入	209	1,152
営業外収益合計	698	4,995
営業外費用		
支払利息	2,948	4,271
為替差損	1,819	—
その他	718	389
営業外費用合計	5,486	4,660
経常利益	62,748	362,078
特別損失		
固定資産除却損	22	—
特別損失合計	22	—
税引前四半期純利益	62,726	362,078
法人税等	24,608	110,333
四半期純利益	38,118	251,745

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	13,902千円	16,433千円